

工業高校における技能検定について

文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官

池守 滋

1.はじめに

職業に必要な労働者の能力を「職業能力」といい、我が国では職業に必要な労働者の技能及びこれに関する知識についての検定制度を設け、「職業能力検定」としている。この検定制度は、「職業能力開発促進法」により国家検定制度の「技能検定」として定めている。技能検定は昭和34年に旧職業訓練法（昭和60年「職業能力開発促進法」と改称）に基づいて、初めて5職種（1級及び2級）で実施された。現在137職種について実施され、技能検定の合格者は300万人を超え、確かな技能の証として各職場において高く評価されている。

2.技能検定について

技能検定試験は、国が定めた実施計画に従い、都道府県知事はその実施の業務を行うこととなっている。さらに、平成13年の改正により、指定試験機関制度が創設され、都道府県知事が行う技能検定試験の職種以外の職種に関する試験業務を指定試験機関に行わせることができることとなった。

技能検定は、検定職種ごとに年1回、実技試験及び学科試験によって実施される。試験日程は、職種・作業によって前期、後期と大きく実施日が分かれている。

(1) 実技試験

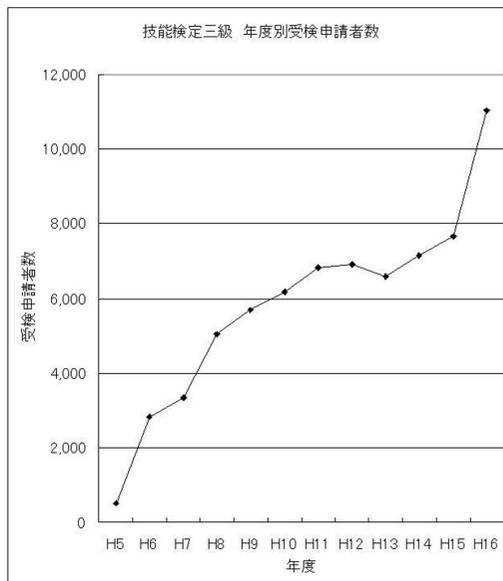
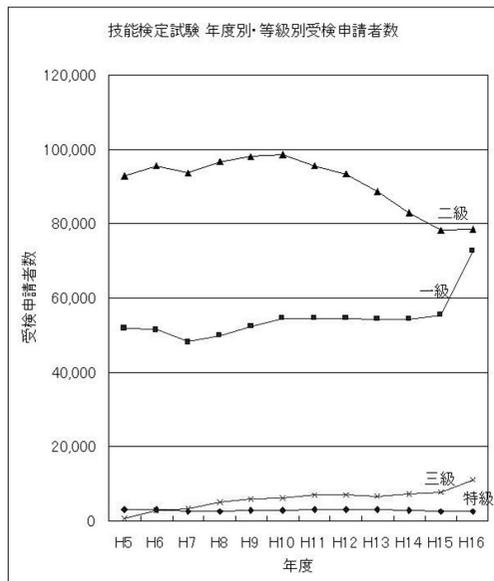
実技試験問題は、実際に作業を行わせるいわゆる作業試験が主体であり、検定職種の大部分のものについてその課題が試験日に先立って、都道府県職業能力開発協会等より公表される。試験時間は4～5時間で、検定職種によっては、標準時間と打切り時間が定められている。また、検定業種によっては、実際的な判断等を試験するために要素試験、ペーパーテストが行われている。

(2) 学科試験

学科試験は、単に学問的な知識を試験するものではなく、作業の遂行に必要な正しい判断力及び知識の有無を判定することに主眼をおくものである。試験時間は、原則として2時間である。学科試験は、基礎1級及び基礎2級を除き、全国統一して同一の日に行われる。この試験日は、厚生労働大臣の定める技能検定実施計画告示のなかで定められている。

3.専門高校生の受検

専門高校生の技能検定受検については、平成5年度に3級技能士が創設されて以来、農業高校の造園系及び工業高校の機械系の学科を中心に卒業学年の3年生のみを対象に多くの学校で取り組まれてきた。このような中、年々3級職種の拡大が行われ、さらに平成16年度に受検資



格要件の緩和及び3級職種の拡大等が行われた。

これにより、平成16年度は、3級において受検申請者が前年比44%の増加が見られ1万人を超えることとなった（上の図は、平成14年度以降認定された指定試験機関によるものを除いている。中央職業能力開発協会調べより作成）。これは、職種の拡大とともに専門高校生が在学中に3級に合格すると2級技能士受検が可能になったこと、3級前期の合格発表のみ高校生の就職活動の開始に間に合うように8月末となったことが大きな影響を及ぼしていることと思われる。

(1) 3級技能検定受検に関する学科

平成16年度より、工業高校、農業高校等の専門高校や職業能力開発施設の在校生（1年生も含める）が受検できるようになった。

工業高校における学科名と受検が認められる検定職種は、右のとおりである。

ただし、「主な学科名」欄に記載のない学科であっても、検定職種に係る主な科目がカリキュラムに含まれていれば、受検資格がある場合がある。また、「受検が認められる主な検定職種」欄に記載がない検定職種であっても、その

検定職種に係る主な科目がカリキュラムに含ま

主な学科名	受検が認められる主な検定職種
機械科	鋳造，金属熱処理，機械加工，建築板金，工場板金，仕上げ，機械検査，機械保全，時計修理，プラスチック成型，配管，テクニカルイラストレーション，機械・プラント製図
電気科	機械保全，電子機器組立て，電気機器組立て，プリント配線板製造，時計修理，プラスチック成型，テクニカルイラストレーション，電気製図，舞台機構調整
電子科	電子機器組立て，電気機器組立て，プリント配線板製造，時計修理，舞台機構調整
建築科	建築板金，建築大工，とび，配管，内装仕上げ施工，テクニカルイラストレーション

れていれば、受検資格がある場合があるので、各都道府県職業能力開発協会に確認願いたい。なお、ここでいう科目は、学習指導要領に定められた工業に関する科目である。

(2) 受検資格要件緩和について

平成16年度より、技能検定の受検要件が大幅に緩和された。専門高校に關係する事項は次のとおりである。

1級技能検定	専門高校卒業後、受検に必要な実務経験年数が10年から6年に短縮された（実務経験のみの場合）。専門高校等の在学中に2級に合格している場合には、卒業後2年の実務経験を経て3年目に受検できる。3級合格者は、4年の実務経験で受検できる。
2級技能検定	専門高校卒業生には、受検に必要な実務経験年数が2年から実務経験必要なしに短縮された（実務経験のみの場合）。専門高校等の在校生については、3級に合格すると在学中に受検できる。
3級技能検定	専門高校等の在學生に係る受検資格について、最終学年の在學生から全ての学年の在學生に拡大された。

（ファイナンシャル・プランニング、金融窓口サービス、レストランサービス、ビル設備管理、情報配線施工、ガラス用フィルム施工、調理、ビルクリーニングを除く）

4. 専門高校生の受検状況

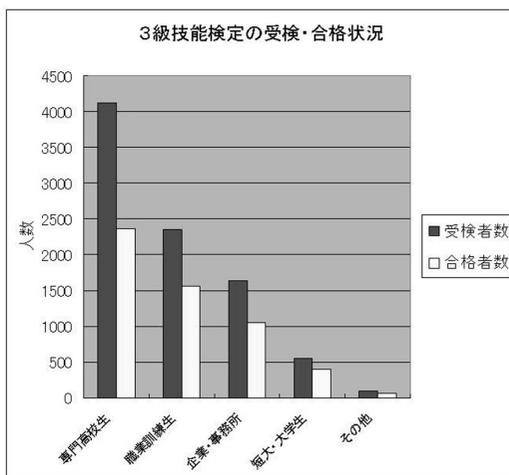
平成17年度前期の技能検定試験において、初の工業高校生の2級技能士が42名誕生した。初

年度からの大きな成果に、合格した生徒たちのみならず、指導された先生方、御援助いただいた関係者一同大きな喜びを感じていると聞いている。これからの「ものづくり立国」を推進していく上での大きな基盤になるものと思われる。

下のグラフは、平成17年度の前期3級技能検定における受検状況を所属別に分類したものである（中央職業能力開発協会調べ）。4千人を超える高校生が受検し、合格率57%で2300人以上の合格者があった。

5. まとめとして

工業高校からみた技能検定試験の課題については、まだまだ多くの課題がある。思いつくままを述べると、すべての都道府県において、すべての職種・作業・等級が実施されているわけではなく、都道府県によっては実施されないものもある。また、テクニカルイラストレーション作業のように、3級のみを検定もある。さらに、工業高校の専門学科に關係が深いと思われる職種・作業において3級が設定されていないものもある。これは、産業界の要望や受検者数、研修制度の有無など、さらには、地域の産業や試験会場などの様々な要素によって決定されているためである。また、受検手数料が高価であることも受検しにくい要素の一つである（都道



府県ごとに異なる。実技試験：約1万円，学科試験：約3千円)。一方では，3級の前期合格発表が8月末になるなど，改善が進んでいるが，後期の合格発表が3月中旬であり3年生にとっては卒業式後となるなど，多くの課題がある。

しかしながら，各学校及び研究会，関係団体などの一層の努力によって，卒業生たちが工業高校において3年間専門教育を受けたことのかな証の一つになることを期待したい。

3級技能検定を実施する職種（平成18年度）

都道府県知事が実施する職種（31職種）

- ・園芸装飾（室内園芸装飾作業）
- ・造園（造園工事作業）
- ・鋳造（鋳鉄鋳物鋳造作業）
- ・金属熱処理（一般熱処理作業，浸炭・浸炭窒化・窒化処理作業，高周波・炎熱作業）
- ・機械加工（普通旋盤作業，フライス盤作業，平面研削盤作業，数値制御旋盤作業，マシンングセンタ作業）
- ・建築板金（内外装板金作業）
- ・工場板金（曲げ板金作業）
- ・めっき（電気めっき作業）
- ・仕上げ（機械組立仕上げ作業）
- ・機械検査（機械検査作業）
- ・機械保全（機械系保全作業，電気系保全作業）
- ・電子機器組立て（電子機器組立て作業）
- ・電気機器組立て（配電盤・制御盤組立て作業，シーケンス制御作業）
- ・プリント配線板製造（プリント配線板設計作業，プリント配線板製造作業）
- ・時計修理（時計修理作業）
- ・内燃機関組立て（量産型内燃機関組立て作業）
- ・冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）
- ・和裁（和服製作作業）
- ・プラスチック成形（射出成形作業）
- ・建築大工（大工工事作業）
- ・とび（とび作業）
- ・配管（建築配管作業，プラント配管作業）
- ・内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業，カーペット系床仕上げ工事作業，銅製下地工事作業，ボード仕上げ工事作業，カーテン工事作業）
- ・テクニカルイラストレーション（テクニカルイラストレーション作業）
- ・機械・プラント製図（機械製図手書き作業）
- ・電気製図（配電盤・制御盤製図作業）
- ・広告美術仕上げ（広告面粘着シート仕上げ作業）
- ・舞台機構調整（音響機構調整作業）
- ・写真（肖像写真作業）
- ・商品装飾展示（商品装飾展示作業）
- ・フラワー装飾（フラワー装飾作業）

指定試験機関が実施する職種（4職種）

- ・ファイナンシャル・プランニング（個人資産相談業務，保険顧客資産相談業務）
- ・金融窓口サービス（テラー業務）
- ・レストランサービス（レストランサービス作業）
- ・情報配線施工（情報配線施工作業）

(詳しい技能検定の職種・作業，等級区分は，<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/syokunou/ginou/aramashi/dl/01.pdf>を参照のこと)